# 最新のウール仕上機 立体包装機

## ワイエイシイ

「小間番号・5401」

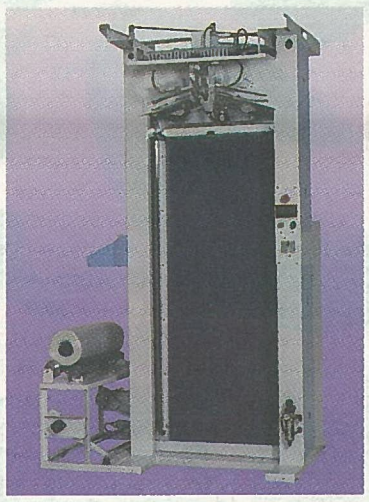
テーマは、「高品質と生産性向上」。ワイエイシイ㈱(本社東京都昭島市、電話042・546・1164クリーニングシステム事業部)は、ウール仕上げ機から立体包装機まで5つの新製品を実演で大々的に発表する。新製品は、▽立体包装機YBH―010A、▽人体フィニッシャーYJK―016A/B、▽パンツトッパーYZL―603A、▽サンドイッチプレスYZK―123Aの各機種で、このほか初日に新型「快速立体包装機」の公開も予定している。また「ワイシャツの最速実演」として、某大手業者の協力を得て実際の現場スタッフの手による仕上げと生産性を披露する。新製品の見どころは次の通り。

### 黒物、白物きれいに自動包装

〈快速立体包装機〉として、黒物、白物をきれいに自動包装できる立体包装機「YBH―010A」(標準タイプ)が新登場した。大きな特長は、400~430枚/時の処理能力。幅1380×奥行き930×高さ2343㎜の省スペース。約20%アップした静音性。

ほかにも、「Newフィルム供給ユニット」とソフトスタート・ストップ駆動によるフィルムのキズ対策や、作業者の腰を痛めないようにフィルム台の高さも配慮してある。各ポイントの必要な箇所に静電気対策も施されており、各部の耐久性も向上。操作はタッチパネルで各タイマー設定やエラー表記も分かりやすい。エラーモニター搭載でメンテナンス性も高めた。カミコミセンサー標準装備で安全性も高い。

前機種からの変更点としては、▽処理能力が400~430枚/時と約25%~30%アップ。▽横幅でマイナス35㎜、奥行きでマイナス20㎜、高さでマイナス7㎜のコンパクト化。▽ローラーパックを廃止、LMガイドに変更。耐久性を高めた。▽チェーンを廃止、ベルト駆動にすることで各部の騒音対策を実現。▽タッチパネルの標準装備に加えて、メンテナンス性も向上。静電気対策もとられている。



立体包装機YBH―010A

初日に公開 YBH―020H

また立体包装機は、初日に最新機種「YBH―020H」を公開する。生産性は550~600着/時の高速処理で高機能。チェーン駆動の廃止で静音性アップ、耐久性も高めているのが特長。

シール・取り出し方式を変更。「600~650可変」でフィルム幅の変更も楽。また「厚物検出モード」で厚い品物がやさしく包装できる。幅・高さもコンパクト化。静電気対策もしてある。

### 高品質のパンツトッパー

高品質のパンツトッパー(全自動)が、メンテナンス性をアップしてリニューアルされた。

パンツトッパー「YZL―603A」の大きな特長は、「股上の浅い品物もセットしやすくなった」、「高風量でシワも伸びやすい」、「省スペースで場所もとらない」などだ。

前機種からの変更点としては、▽蒸気用電磁弁を変更。蒸気吹き出し量をアップさせて生産性アップ。▽タックの押さえ部分を変更して耐久性をアップ。▽制御盤付近の構造を変更し、メンテナンス性も向上させた。

例えば、クランプの支点の耐久性を高める(ブッシュをベアリングに変更)など使用部品の耐久性が高められたほか、フットペダルの安全性も高めて作業環境の改善につなげている。オプションで霧吹き、前押さえユニットの取り付けが可能。

期間中は、参考出品として「蒸気吸引ダクト」も発表する。

パンツトッパーYZL―603A

### アタリ防止機構を搭載

アタリ防止機構を搭載して、バキューム力もパワーアップさせたのが、ズボン万能プレス「YZK―013A」。幅広い種類のズボン、スカートなどを仕上げることを可能にした。

前機種からの変更点として、▽アタリ、テカリの防止として自重緩和機構を搭載。プログラムでもアタリ防止プログラムを搭載した。▽作業環境を良くするために、スチームをバキュームする機能を追加。▽風量アップにより吹き上げ時に仕上げしやすく、かつバキュームも向上させることでジャケットのラペル仕上げもしやすい。▽コテの長さを変更し、腰まわりが処理しやすく、長い品物もプレス可能にした。

これらにより、コテの長さがプラス50㎜の―10、60㎜に。奥行きも長いことからロングスカート・ワンピースの仕上げもOK。高いバキュームパワーでラペルのセットから仕上げも楽に。上コテにバキューム追加で仕上げ品質とともに作業性も向上。上コテの重さをゼロにして弱圧プレスに対応。蒸気吹き出し量がアップしたことで生産性も高くなった。また、L型アイロンホース吊りサポート(オプション)も用意されている。

ズボン万能プレスYZK―013A

### 人体が省スペースで新登場

高品質で好評の人体フォーマーが省スペースになってリニューアルされた。人体フィニッシャー「YJK―016A/B」の大きな特長は、袖広げアームを取り付ければブラウスからジャケットまで幅広く仕上げが可能な点。高効率モータを採用し、コンパクト化も図られた。ダミー(人体)を手前に配置して作業性も向上。さらにダミーを細身にしたことでレディース品がセットしやすくなったのも嬉しい。

袖拡張のストロークを240㎜にして男性品にも対応させた。ユニットのスライド量もアップ。もちろん、蒸気噴射口を上にして蒸気量アップ、蒸気の吹き出しに、袖からの蒸気量もアップ。

前機種からの変更点としては、▽奥行きを120㎜、高さを50㎜コンパクトに省スペース化。▽ダミーと作業者の距離を105㎜短くしてセット性を向上。▽脇張りの支点を変更してドロップ寸の大きいものでもセット可能。▽布カバーの形状変更とスチームブロー量を増加させ、スリーブの加湿を可能にして仕上げレベルを向上(特にシャツ、ブラウス)。▽袖広げユニットの伸縮量を変更することで、メンズシャツのセットが可能、などとなっている。

人体フィニッシャーYJK―016A/B

### 腰まわりが修正しやすい

アタリ防止機構搭載に加えて、腰まわりの修正も可能としているのが、サンドイッチプレス「YZK―123A」。高い生産性で、幅広い種類のズボンを仕上げることが可能な万能タイプだ。

大きな特長は、コテの形状を変更することで腰まわりの仕上げを可能にし、前機種同様、エアーブローで股くり部の蒸気アタリを軽減できる。

前機種からの変更点としては、▽ブロワファンの高効率モータを採用。▽蒸気吹き出し量アップで生産性アップに貢献。▽アタリ、テカリ防止に自重緩和機構を搭載。▽コテの形状を変更することで腰まわりの仕上げを可能に。▽上コテの重さをゼロにすることで弱圧プレスができる。▽フットスイッチも移動可能。▽フックとマジックテープでカバー交換が簡単。

万能タイプのコテ台として「手直しが楽」としている。もちろん、従来タイプのコテを持つ「YZK―124A」(プレス専用タイプ)もラインナップしてある。

サンドイッチプレスYZK―123A

### 〈最速仕上げ〉Yシャツ実演も

期間中、ブースでは「ワイシャツの最速実演」として、某大手クリーニング企業の協力を得て、現場スタッフの手による仕上げと生産性のアピールを行う実演会を繰り広げる。

これは、ワイシャツプレス機ダブルセットで実現できる「最速」仕上げ実演の提案企画だ。カラー・カフス、タックスリーブ、ボディー、立体ハンガーから包装まで、「一連の稼動状況を実際のオペレーターの手でご披露いただく」(同社)ものので、レアな実演が注目される。